

記述形式	説明	
○	手続, 変数などの名前, 型などを宣言する。	
/* 文 */	文に注釈を記述する。	
処 理	・変数 ← 式	変数に式の値を代入する。
	・手続(引数, …)	手続を呼び出し, 引数を受け渡す。
	↑ 条件式 ↓ 処理	単岐選択処理を示す。 条件式が真のときは処理を実行する。
	↑ 条件式 ↓ 処理 1 ↓ 処理 2	双岐選択処理を示す。 条件式が真のときは処理 1 を実行し, 偽のときは処理 2 を実行する。
	■ 条件式 ↓ 処理 ■	前判定繰返し処理を示す。 条件式が真の間, 処理を繰返し実行する。
	■ 処理 ↓ 条件式 ■	後判定繰返し処理を示す。 処理を実行し, 条件式が真の間, 処理を繰返し実行する。
	■ 変数: 初期値, 条件式, 増分 ↓ 処理 ■	繰返し処理を示す。 開始時点で変数に初期値 (式で与えられる) が格納され, 条件式が真の間, 処理を繰返す。また, 繰返すごとに, 変数に増分 (式で与えられる) を加える。

〔演算子と優先順位〕

演算の種類	演算子	優先順位
単項演算	+, -, not	高 ↑ ↓ 低
乗除演算	×, ÷, %	
加減演算	+, -	
関係演算	>, <, ≥, ≤, =, ≠	
論理積	and	
論理和	or	

注記 整数同士の除算では, 整数の商を結果として返す。%演算子は, 剰余算を表す。

〔論理型の定数〕

true, false